

刊日

労働新聞

社団法人労働新聞社
九五四町南町平塚島根
次 藤原 伊 人行 登
一 進古町 濱名 小 藤原 島根

刊夕日五十二月六
一ヶ月 三十錢
一ヶ月 二錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

不振の底引漁業に 一大光明展開?

期待される、夏期底引船利用策

底引船不振の現状から夏小型(一噸船)を利用して、夏季底引船漁期の利用は中山受網にして見たい。水産試験場長の骨折りと最初中二噸位の見込で、地元船主の苦境打開への積が小型底引を改良したので、極端の躍進からカムチャツカ千五百圓位でした。千島方面への進出とまでなれば、阿波のつたが、航路で行くなら、函館が非常に漁場には、とが其の他の船には色々難色思ふので、釣子根拠にして、もあり相当多数の引上げ底を考へて行つたのです。引船を地元で数へつ、ある伊豆伊東で底引船は、絶對折柄江名町金成徳松氏が、年額二百萬圓受網漁業に轉業して、廿二日を算し、御なる額で、廿年前一時出帆、同日午後五時、萬圓を計上して、廿年前、四百萬圓を漁獲して、銚子に、静岡方面では、大島、新島、港シケの爲同様に、淀泊して、三宅方面が良く、初島大居ることを知つて、早速金成島間の大室山が、最後の漁業に、開港されたが、縣農務課吉氏を訪れ、受網漁業に就いて話を聞く。

業組合では、餌になる鰯の夏季の冷凍を無料で作る位の理解は持つて居て呉れます。私の船は、廿四噸六十馬力ですが、受網には最適なものでは、ありません。本縣農務課長、今井清武氏は、石城郡内、養豚関係の豚コレラ豫防注射状況、豚舎の状況、成育の状況調査の爲、來郡するが、小名濱町には、廿六日、來町視察することと、見込で、おぼろげです。

小麥茶種販賣統制 連絡協議會 縣農會主催て 平町團体事務所開催

縣農會並に縣農販主信託組合、役名、石城地方小麥茶種販賣統制場からは、新妻農事主任が出た。連絡協議會は、廿四日午前、の石城地方小麥茶種販賣統制場からは、新妻農事主任が出た。連絡協議會は、廿四日午前、の石城地方小麥茶種販賣統制場からは、新妻農事主任が出た。連絡協議會は、廿四日午前、の石城地方小麥茶種販賣統制場からは、新妻農事主任が出た。

松平晃 廿九日平へ

平町青年團では、資金を遣、爲、漂流中、七時、推測、野島、東、弱、格者、氏名、は、左、の、通、り、で、ある。

磐城丸 漁業調査状況

廿五日朝七時、廿分、無電、昨夜十時、迄、弱、速、にて、南、西、向、に、航、走、漂、泊、中、七、時、推、測、野、島、東、弱、格、者、氏、名、は、左、の、通、り、で、ある。

東北振興事務局長 漁港視察

東北振興事務局長松井春夫氏は、東北一巡の歸途郡内、炭礦、漁港を視察するが、豫定は左の通り。

八月四日から 町徴兵検査

平町の徴兵検査は、八月五日(本報六日)の朝、日で行はれるが、各々の前日、學術試験であつて、受検者總數二百九名、検査場は、平第一小學校である。

地方名士

長所と短所

阿部彦次郎氏 (六十)

阿部氏は大政網の先覺者と謂であらう、故に信するも、技術的方面に於ては天の爲め、又は同志の爲め、下でも其名を雷の如く轟し、裸になつても辭せぬ男性、現に農園平濁、磯崎、美を發揮する。三ヶ所の技術主任であつて、短所は自らが、純情の所有、必らず大漁するの信念を、持たせ、社畜の一面を知、れば、魚は磁石に吸入れらるる爲め、稍もすれば、乗せ、如く、殆ど神秘的な靈力を有する點である、も一つは、御婦人に對しては、絶對的寛、長所としては、毒氣がなく、童大な包容力有する、但し、心の如く、而して信念の下に、夫れは、缺點ではない人間美、は大膽なる決行力を有するの極致である。

理髮試驗合格 者證書授與式

先月十七、八、九の三日、開郡山で、行はれた、縣下、理髮、江、名、町、志、賀、留、藏、玉、川、村、渡、邊、キ、チ、江、ミ、チ、ョ、栗、田、の、中、本、署、管、内、の、者、に、對、し、て、考、治、武、田、信、子、栗、田、は、今、廿、五、日、午、前、十、一、時、か、ら、内、郷、村、武、田、吉、次、加、藤、正、三、郎、藤、田、勇、中、署、議、室、で、合、格、証、書、授、與、式、が、行、は、れ、た、尚、ほ、管、内、各、好、問、村、齋、藤、ヨ、シ、長、瀬、キ、チ、赤、井、村、松、島、健、青、木、義、幸、加、藤、ヨ、シ、若、松、ア、キ、高、田、フ、ク、柳、井、ミ、チ、ョ、根、島、カ、ネ、藤、田、キ、チ、岡、田、植、田、町、に、立、派、な、醫、院、を、開、業、ト、ラ、安、齋、マ、サ、子、田、中、し、て、色、淫、的、行、爲、を、常、習、と、し、キ、ミ、エ、水、竹、福、三、引、地、で、御、座、る、所、謂、先、生、は、今、植、田、正、雄、鈴、木、隆、次、加、藤、正、三、郎、上、下、階、級、の、話、題、を、振、は、し、一、木、村、正、一、大、曲、直、衛、で、居、る、現、在、の、奥、様、は、五、人

街の噂

今晩、北風、時々、晴、れ、明日、北、東、の、風、晴、後、曇、り、氣、壓、七、百、五、十、三、種、五、今、朝、各、地、の、天、氣、石、巻、八、丈、島、一、雨、銚、子、新、潟、一、曇

人事往來

小名濱町役場、黒澤、庶務課、長、は、明、廿、六、日、午、前、中、出、縣、と、れ、より、内、務、省、に、出、頭、す、る、こ、と、に、な、つ、た。

今、回、は、既、津、の、如、く、過、日、起、債、票、請、求、に、關、し、て、港、灣、改、修、理、立、費、六、萬、四、千、圓、商、港、修、築、事、業、費、地、元、負、担、金、二、萬、三、千、圓、火、葬、場、費、八、千、圓、の、起、債、許、可、運、動、に、關、す、る、も、の、で、あ、る。

天氣豫報

小名濱、瀬、原、所、發、表、今、晚、北、風、時、々、晴、れ、明日、北、東、の、風、晴、後、曇、り、氣、壓、七、百、五、十、三、種、五、今、朝、各、地、の、天、氣、石、巻、八、丈、島、一、雨、銚、子、新、潟、一、曇

江名町の平和を破るな

自力更生にて 非常時を打開せよ

龍ヶ崎 仙人

去る八日の常盤新聞にて江を構成しその打開と解消の名町に存在を認められぬ覆責は懸つて現代國民の双府而士小松勝馬君は折戸埋立にある此れを打開するに地問題に付き同町議小松金國民の更生の精神が第一必十郎氏外數名の論議に對し要今日の所謂更生運動なる愚論駁辯二枚舌など、批難ものは經濟更生として傳へを下し又町當局者の無能とられる聲の大なるだけに其迄呼びたるに對し小松金十精神の方面に就ては仙人は郎氏等は辯明がましき事を特に深く省慮すべき點が多云ふは大人氣なと思つた事を、日常の見聞より痛感然し餘りにも町民を迷はすして居る之に就ての感想をので一應の主張點を明かに述べて參考に資したいと思して町民各位の批判を待つふが各般の更生方策は國家とて去る十五六兩日の常盤新聞に論ずれば、限りがあ新開にて堂々たる聲明にませんが略して江名町の自於て覆面士は雲がくれば音力更生の熱烈なる意氣無くがない其上非常時を叫ぶ資んば到底其の成功を期する格は絶對にないと言はれは、これは出来ぬ、即ち町民各たるに解答なきは如何なる自が其分に勵みて渾身の力理由か判断にくるしむ察すを盡し以て私慾に離れ或るに一人一倍の氏は萬に一し感情を買はんが爲に心にれたなら釋迦に致で誠な言を弄するが如き事入ります、非常時局の真相を讓み協力一致水産生産の一部分を記す非常時と合理的増加に最善の努力をばあるが諸々の國家的難事を發揚せらるゝ様に希望の累積に對し期せずして發する。

て其内容は勿論多種多様である就中最も重大なるものとして内には中正を逸したる過激思想の傳播公私の經濟の窮迫があり之に加へて外には外交上の問題而して之等より派出する諸々の問題を集積して非常時の内容

水産試験場製鐵所小名濱
鯛味辛濱名小
名所やみ濱名小
繪葉書げや
口入港古濱名小
店貨百屋文

募集

營業部 平町 一名
營業部 小名濱町 一名
學生配達夫二名
中學生又は
高等二年 (但平町在住)
申込は平町南町
昭和活版所宛
常盤新聞社

長口廉賣に勝る商略なし
警械セメント特約代理店

金物問屋
釜屋商店
警械セメント特約代理店
東京振替貯金口座一〇九五六
電話九番九九九番
警械平町五丁目

眼科一般

小名濱眼科醫院
小名濱町

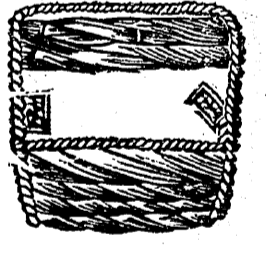
小名濱分院開設

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院
本院 平町南町一六
電話平一七〇番

内科・外科
小兒科
花柳病科
平川醫院
江名町 電話二六番

清世界

店本屋水清 元賣發
番六話電町濱名小



池部科齒醫院

口腔外科
齒科一般

脳一番

頭痛、めまひ、不眠
にょくキク
試薬無代進呈 本舖 開陽堂 局藥
小名濱町銀座街

コルタ剤
防腐剤
ナイメン
エナイメン
ペナイメン
エナイメン
計寫エペ防コ

資生堂



小名濱町中島電話一四七番

脊柱調整院

神經系一般の新しい治療を致します
小名濱西町 大高進

吉田屋輪店

●●●ミツノの自轉車 特約
●●●ゼット號「自轉車」
●●●自轉車並
●●●リヤカ
●●●修理販賣
●●●流線形「ワイムス號」新製品着荷
●●●(一名盜難除け)
●●●日掛け金拾錢也て
●●●リヤカ
●●●自轉車 買へる
●●●外に月賦の便法もあり

酒銘「玉の井」

長瀬彰義醸造
石城郡玉川村

募集

齒科技工見習(女子)
齒科見習看護婦
右至急募集ス
植田町
森合齒科醫院
申込ハ本社ニテモ
取扱フ